

横浜開港150周年記念事業マスコットキャラクター愛称が 「たねまる」に決定しました

近代日本の開国、横浜開港150周年記念事業全体のシンボルとなるマスコットキャラクターの愛称がついに決定しました。2007年11月1日から11月28日まで公募したところ、日本全国から4906点の応募があり、選考委員9名による審査の結果、グランプリには大庭乃里子（おおば のりこ）さん、河野雄二（かわの ゆうじ）さん、坂東優（ばんどう まさる）さん、務台恵理（むたい えり）さんの作品「たねまる」（ひらがな表記、敬称なし）が選ばれました。



横浜開港150周年記念事業
マスコットキャラクター たねまる
（ひらがな表記、敬称なし）

愛称募集応募結果概要

《受賞作品》

- (1) グランプリ 「 たねまる 」 受賞者 4名（別添参照）（ひらがな表記）
- (2) 優秀賞 「 いごまる 」 受賞者11名（別添参照）
- (3) 佳作 「 はまべい 」 受賞者 4名（別添参照）

《審査委員長 日比野克彦氏コメント》

全国からたくさんのお応募があり、様々な作品コメントをみると横浜の開国・開港の歴史や文化等の知識、横浜開港150周年を共に祝う気持ちを多くの方がお持ちなのを感じ、大変うれしくおもいました。“たねまる”は、皆様に愛される作品であると感じており、この本事業のシンボルとして活躍できると思っています。

《選考委員》日比野 克彦

小川 巧記
宮本 亜門
池田 修
北原 照久
高橋 悦子
田中 里沙
川口 良一
小野 耕一

【委員長】

【副委員長】

（記念テーマイベントアートプロデューサー）
（記念テーマイベント総合プロデューサー）
（横浜開港150周年記念式典 プロデューサー）
（BankART 代表）
（横浜人形の家 プロデューサー）
（株）アド・ギルド コピーライター）
（宣伝会議 編集室長）
（横浜市開港150周年・創造都市事業本部長）
（財）横浜開港150周年協会 専務理事）



発信元・問い合わせ先
財団法人横浜開港150周年協会
広報部長 望月恵子 TEL222-1508

受賞者名簿

(50音順・敬称略)

【グランプリ 4名】
たねまる

大庭 乃里子 (おおば のりこ)
河野 雄二 (かわの ゆうじ)
坂東 優 (ばんどう まさる)
務台 恵理 (むたい えり)

【優秀賞 11名】
いごまる

大沼 可衣 (おおぬま かえ)
川村 剛史 (かわむら たけし)
小島 紀子 (こじま のりこ)
柴田 裕子 (しばた ゆうこ)
中村 さなえ (なかむら さなえ)
藤井 清美 (ふじい きよみ)
前島 昌美 (まえじま まさみ)
水林 ゆかり (みずばやし ゆかり)
村上 真一 (むらかみ しんいち)
森 響平 (もり きょうへい)
保岡 直平 (やすおか なおき)

【佳作 4名】
はまべい

五十嵐 庸介 (いがらし ようすけ)
小俣 佐江子 (おまた さえこ)
金子 寿子 (かねこ ひさこ)
野見山 直子 (のみやま なおこ)



～ 500日前カウントダウンイベント ～ 横浜開港150周年記念事業マスコットキャラクター表彰式

- 2008年1月19日（土）は、横浜開港150周年まで、あと500日という記念すべき日です。
- (財)横浜開港150周年協会では、横浜駅西口高島屋前広場において、一般公募したマスコットキャラクターのデザイン及び愛称募集受賞者への表彰式を行うほか、キャラクターのお披露目を行います。
- 表彰式に先立ち、横浜駅西口振興協議会主催によるカウントダウンボードの点灯式が開催され、横浜開港150周年の気運を高めます。

横浜開港150周年マスコットキャラクター表彰式

〔日 程〕2008年1月19日（土）

〔表彰式〕11時45分～12時15分（予定）

※表彰式終了後、横浜市立桜ヶ丘高等学校吹奏楽部による吹奏楽の演奏並びにマスコットキャラクターシールを配布します。

〔場 所〕横浜駅西口高島屋前広場 仮設ステージ

〔出席者〕

佐々木 謙二 (財)横浜開港150周年協会会長
日比野 克彦 選考委員長 (記念テーマイベントアートプロデューサー)
北原 照久 選考委員 (横浜人形の家 プロデューサー) [予定]

デザイン・愛称受賞者に表彰状と目録授与

マスコットキャラクター（着ぐるみ）ホッシー、マリノスケも登場します。

※横浜駅西口振興協議会(会長:及川 陸郎)主催設置のカウントダウンボード点灯式を、表彰式前の午前11時30分から開催予定。

◆表彰式の取材に関して◆

当日、会場に設置してあります、報道受付デスクまでお越しください。



発信元・問い合わせ先
財団法人横浜開港150周年協会
広報部長 望月恵子 TEL222-1508

テーマイベント「開国・開港Y150」コンテンツ進行中！

～「海洋都市Yシアター」映像プロデューサーに岩井俊二氏を起用～
～スーパーハイビジョンによる映像シアターを展開（新港会場）～
～「Y150はじまりの森」のイメージ固まる～

《ベイサイドエリア》

会期（予定）2009年4月28日（火）～9月27日（日）

○海洋都市Yシアター（大さん橋会場）テーマ：想像力の種

- ◆ 横浜の「未来」や「旅立ち」をテーマとした近未来ファンタジーアニメーション映画を上映します。
- ◆ 映像プロデューサーに日本を代表する映画監督である岩井俊二氏を起用します。本作品は、岩井氏にとって初のアニメーション映像のプロデュースとなります。

○Yokohamaクリエイティブ・キッズ（新港会場）テーマ：創造力の種

- ◆ スーパーハイビジョン（超高精細映像システム）による超大型映像シアターを設置し、会場テーマである「創造力の種」にちなんだ映像を上映します。

○Y150はじまりの森（新港地区8街区会場）テーマ：横浜力の種

- ◆ “横浜のはじめて”を体感できる映像・展示を中心に展開します。



発信元・問い合わせ先
財団法人横浜開港150周年協会
企画調整部長 小林 仁
TEL222-1555

岩井俊二が描く未来の横浜への想い

～人々の夢と希望を未来へ繋いでいくメッセージ映像シアター～

- 大さん橋会場で展開する「海洋都市Yシアター」では、未来の横浜、未来の地球を来場者一人ひとりが描き、想像するメッセージ型の映像を展開します。
- 大さん橋ホールに約500人収容のシアターを設置し、約20分の映像の上映を予定しています。

○日本を代表する映画監督岩井俊二氏をプロデューサーに起用

◆横浜市に在住経験を持ち、数々の話題作を世に送り出してきた日本を代表する映画監督である岩井俊二氏をプロデューサーに起用し、岩井氏の視点から未来の横浜へのメッセージを発信します。

○岩井氏にとって初となるアニメーション映像のプロデュース

◆過去から未来へ、親から子供へ、友達から友達へ、来場する人々や参加する市民それぞれの想いを未来へつないでいくことをテーマに、メッセージ性の高い原作と新進気鋭の作画監督を起用し、岩井氏初となるアニメーションでの映像プロデュースにチャレンジします。

○制作の過程を随時公開する新しい取り組みを実施予定

◆映像コンテンツの制作過程は、WEBなどを通じて随時公開し、未来の横浜へのメッセージを市民のみなさんと共有することにより、会期前からの期待感を高めつつ、作品として仕上げていく新しい制作方法に取り組む予定です。



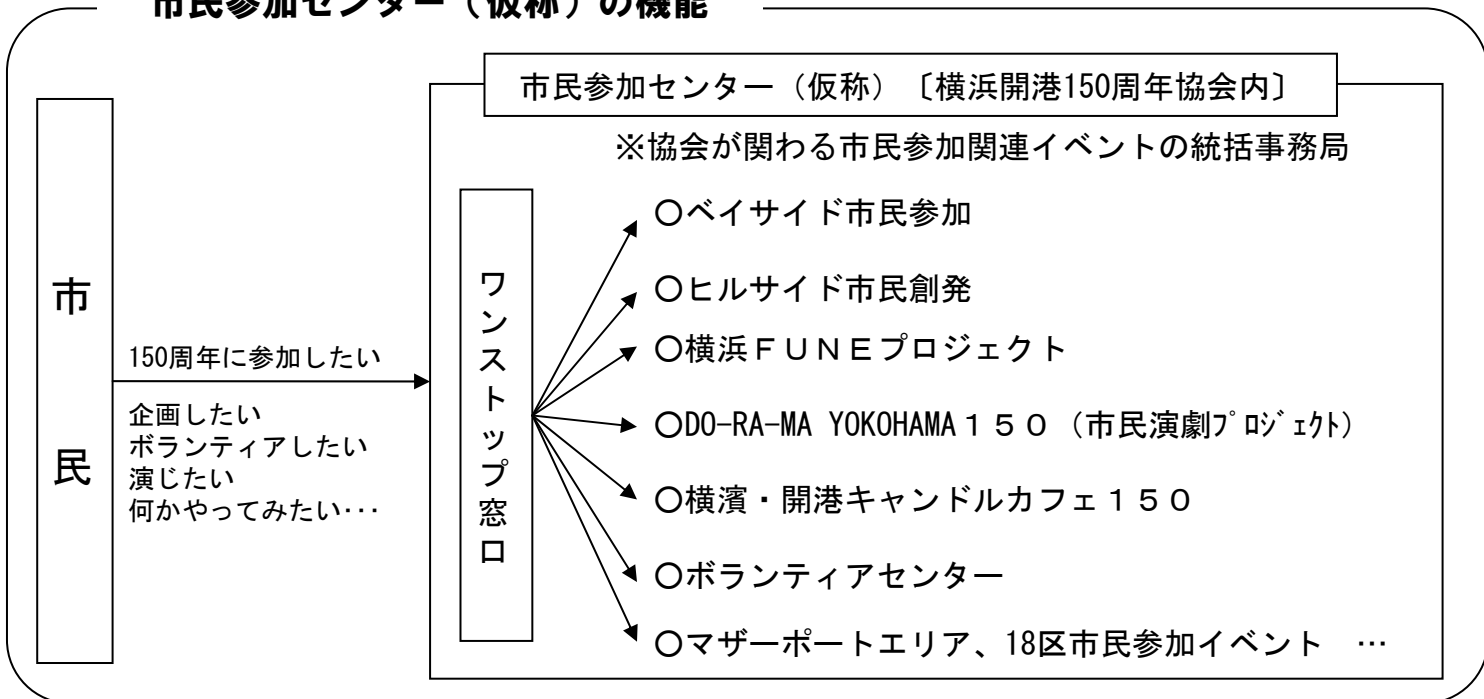
発信元・問い合わせ先
財団法人横浜開港150周年協会
企画調整部長 小林 仁
TEL222-1555

市民が創る「開国・開港Y150」 開港150周年に向け市民参加のワンストップ機能として 「市民参加センター（仮称）」を2008年度に設置

～ 開港150周年の主役は市民！ ～

- テーマイベント「開国・開港Y150」では、ベイサイドエリア・ヒルサイドエリアなどの各会場において、市民一人ひとりのアイデアを活かした、「市民が主役」の事業を展開する予定です。
- ヒルサイドエリアでは、参加者総数308人で市民創発を支援するプログラムをいよいよスタートさせます。
- また、テーマイベント会場内だけでなく、横浜市全域で開港150周年の盛り上がりの機運を高めるような取り組みについても、関係機関との連携により進めていきます。
- このために、市民参加の受け皿として2008年度に、150周年協会内に市民参加のためのワンストップ機能を備えた「市民参加センター（仮称）」を設置します。「自分で何か企画したい」「なかなか時間はとれないが少しでも開港150周年の節目に関わりたい、手伝いたい」などの多様な市民参加のニーズに、丁寧にわかりやすく対応していきます。

市民参加センター（仮称）の機能



発信元・問い合わせ先
財団法人横浜開港150周年協会
市民参加事業部長 名倉 直
TEL222-1540

500日前カウントダウンイベント①

ヒルサイドで 市民メンバーの参加、プロジェクトづくりを開始します

～308名の市民の方が市民創発メンバーとして参加～

- 「ヒルサイド」に参加する「市民創発メンバー」の募集をしておりましたが、目標を上回る、308名もの市民の方に応募いただきました。
- 応募者の主な年齢構成は、20代15%、30代17%、40代15%、50代13%、60代12%となっており、各世代の割合が均衡されています。
- 1月19日（土）から、旧横浜市立若葉台西中学校校舎（横浜市旭区）を会場として、市民創発メンバーが一同に集まり、プロジェクトづくりを行っていくワークショップ「創発支援プログラム」が始まります。
- 創発支援プログラムのサポート役として、横浜市職員を対象に参加を呼びかけたところ、各局区から28名の職員が応募しました。

【第1回創発支援プログラムの主な内容】

日 時 1月19日（土）13時30分～17時

13:30～ 開会セレモニー（体育館にて）
オープニング挨拶、テーマイベント「開国・開港Y150」全体概要説明
ヒルサイド創発支援プログラム全体説明、記念撮影等

14:45～ グループ別 第1回創発支援プログラム実施（各教室にて）
メンバー間自己紹介、出展案個別提案、グループ内交流会等

17:00 終了予定

（参考：第2回以降の日程 内容は予定）

第2回 1月26日（土）プロジェクトづくり1

第3回 2月 9日（土）プロジェクトづくり2

第4回 2月23日（土）プロジェクト発表

第5回 3月 8日（土）出展内容を考える1

第6回 3月22日（土）出展内容を考える2、クロージング

※4月以降の日程については未定



発信元・問い合わせ先
財団法人横浜開港150周年協会
事業推進部

御調（おしらべ） TEL222-1551
吉川（きっかわ） TEL222-1551

500日前カウントダウンイベント②

横浜FUNEプロジェクト ワークショップ開催
 日比野克彦アートプロデューサーと一緒に120人の力をあわせてダンボールで横浜
 ゆかりのFUNE（船）を創ります

～貨客船、地元の漁船、タンカー、コンテナ船～
 ～FUNEを創れば、想いは船出し、水平線を越えていく～



日比野克彦アートプロデューサー
 (東京藝術大学教授)

- 2009年の横浜開港150周年に向けて、記念テーマイベントのアートプロデューサー日比野克彦氏の参加・監修によりダンボールなどの素材を使って「FUNE（船）」を創りながら親子や子ども同士の交流を図ります。
- 今回は500日前カウントダウンイベントとして、総勢約120人の手により、太平洋航路第1船の「コロラド号」や金沢区の漁船、油タンカー「出光丸」、コンテナ船「エマ・マースク」をモチーフにFUNE（船）を制作します。

【横浜FUNEプロジェクトとは】

- 開港以来横浜は、港を出入りするFUNE（船）によって、諸外国との間で多くのヒトやモノの交流を実現し、先進的な産業や文化を吸収して発展してきました。
- こうした歴史を踏まえて、船とともに発展し続ける「都市ヨコハマ」の象徴的事業として、横浜港の歴史を彩ってきた150艘の船をダンボールを素材に、子供から大人まで大勢の市民の手によって制作するプロジェクト。

- 1 日時 2008年1月19日（土）～20（日）1泊2日（集合：午前10時 解散：午後3時）
- 2 会場 横浜市野島青少年研修センター
 横浜市金沢区野島町24-2野島公園内
 金沢シーサイドライン「野島公園」駅より徒歩8分
- 3 参加人数 約120人（参加受付は終了しています）
 一般参加者90名（親子中心）ボランティアクルー30名
- 4 参加記念品 横浜FUNEプロジェクトパスポート
 ○ワークショップ参加者に一人1冊配布
 ○一日参加するごとにFUNE（船）のスタンプを押印
 ○横浜港や船の歴史に対する理解を深めてもらうために、主な20隻の船の写真や開港期以降の船の年表等も掲載



※取材は1月19日（土）午前10時から20日（日）午後3時までの間に直接会場にお越しください。



発信元・問い合わせ先
 財団法人横浜開港150周年協会
 市民参加事業部長 名倉 直
 TEL222-1540

500日前カウントダウンイベント③

マスコットキャラクターキャラバン隊が マザーポートエリアに登場します

- マスコットキャラクター愛称発表並びに表彰式（横浜駅西口高島屋前広場）のあと、マスコットキャラクターキャラバン隊が、マザーポートエリア（※）内のスポット5ヶ所に登場して、500日前カウントダウンイベントをおおいに盛り上げます。
- 今後、市内各所にて市民にご挨拶にうかがい、横浜開港150周年をPRしていきますので、是非ご期待ください。

※マザーポートエリア：横浜駅周辺～山下・山手地区

【マスコットキャラクターキャラバン隊】

マスコットキャラクターのお披露目（着ぐるみが登場）と、下記キャラバンエリアにおいて、マスコットキャラクターシールを配布します。

《日 程》

2008年1月19日（土）13時00分～17時30分（予定）

《キャラバンエリア》

- ・横浜スタジアム 「欽ちゃん・松坂大輔のドンとやるの！」（13時～13時30分予定）
※萩本欽一率いる“ゴールデンゴールズ”VS松坂大輔率いる“サムライ”の試合開始前に、マスコットキャラクター「たねまる」が花束を贈呈します。そして、欽ちゃんと松坂選手が共に観客の皆さんへ開港150周年をPRします。
※欽ちゃん・松坂大輔のドンとやるの！」の取材に関して
当日、横浜スタジアム1階正面入り口に設置してあります、報道受付デスクまでお越しください。
- ・山下町地区
「ホテル ニューグランド」前 14時15分～14時30分（予定）
- ・新港地区
「赤レンガ倉庫」 15時～15時30分（予定）
- ・みなとみらい地区
「ワクワクもくもく広場」 16時～16時30分（予定）
- ・横浜駅東口
「バイクオーター」2階デッキ付近 17時～17時30分（予定）



発信元・問い合わせ先
財団法人横浜開港150周年協会
広報部長 望月恵子 TEL222-1508



▲Y150はじまりの森（会場イメージ）



▲岩井俊二氏

<プロフィール>

1963年1月24日生
1987年横浜国立大卒

(代表作)

- Love Letter (1995年)
- スワロウテイル (1996年)
- 花とアリス (2003年) 等

